

市内全公立小学校の児童への1人1台のタブレットPC整備を生かした反転授業に取り組む佐賀県武雄市の実践などを見つめながら、教員、ICT研究者が「小学生に反転授業は可能か」をテーマに協議を深めるデジタル教科書教材協議会（DiTT）によるシンポジウムが9月3日、東京都文京区の東京大学山上会館で開かれた。

基調講演
では、代田
昭久佐賀県
武雄市立武
内小学校長

が、現在、推進している武雄式反転授業（スマイル学習）について報告した。
同市では、▽学習者がより意欲的に授業に臨めるようにする▽教師が子どもの実態を正確に把握し授業に臨む▽学校の授業で「協力的な問題解決能力」を育てる―ことを目標に、市内全小学校児童1人1台にあたる約3150台のタブレットPC整備を図り、今年



今後にも参考意見の者実践を考を、学校で

5月からスマイル学習に取り組んでいる。同学習では、児童が授業実施の前日に個々

のさらなる分析・統合などを視野に各自の学習成果や知識をもとに仲間と共有、協働する

佐賀県武雄市の実践から

反転授業の協議深める

DiTTがシンポ

PC活用や反転授業は教育スタイルを大きく変える試み。単なる

のタブレットPCに配信された教材を自宅で予習。学校では予習で学んだ内容を踏まえ仲間との協働学習などに取り組んでいくといった学びの流れを解説した。

学習や発展学習などに取り組み、一連の成果の復習を踏まえた予習をさらに進めていく新たな学習サイクルの実現を目指しているなどと話した。

自宅の予習で使う教材は、5〜7分程度の動画教材、数問の小テスト、学習感を綴るアンケートなど、トータル10〜25分程度で学べる課題。タブレットPC上にダウンロード

また、同様に反転授業に取り組む佐藤靖泰宮城県富谷町立東向陽台小教諭は、現在の授業時間内で基礎的な学習得から、協働学習を通じた練り合いや発展的な学習、まとめまでを確実に実施してい

テクノロジーの利用、対応という視点にとらわれない認識を教育関係者が共有すべき「などの意見が示された。これまでの実践経験を踏まえ代田校長からは「指導した小6では反転授業は可能。ただ、個々の家庭学習で分かるなかったことを学校の協働学習で明らかにし、きちんと学び合えるような状況を作っておくことが肝要」などと指摘していた。